

これらのうち、クリーンアップ調査については3回(第4回～第6回)実施する。

このうち、第4回の独自調査については、共通調査の調査枠周辺の優先区域(枠の中心から左右に約100m)及び平成19年度の独自調査で未着手の区域(St.1の北側、St.6)を優先して実施する(実施済)。

第5回(7月中旬実施予定)の独自調査では、共通調査の調査枠周辺の優先区域(枠の中心から左右に約100m)及びそれまでの独自調査で未着手の区域(St.3の南側：ビーチ能登周辺)を優先して実施する。

第6回(9月末頃)の独自調査では、好天時のビーチクリーナの効率を把握するための調査を実施する予定である。

漂流・漂着ゴミの削減方策に向けた主な検討事項としては「現状把握」、「発生抑制」、「除去」、「漂着防止」の4点が挙げられる。これらの検討事項と上記の調査項目との関係を図2に示す。

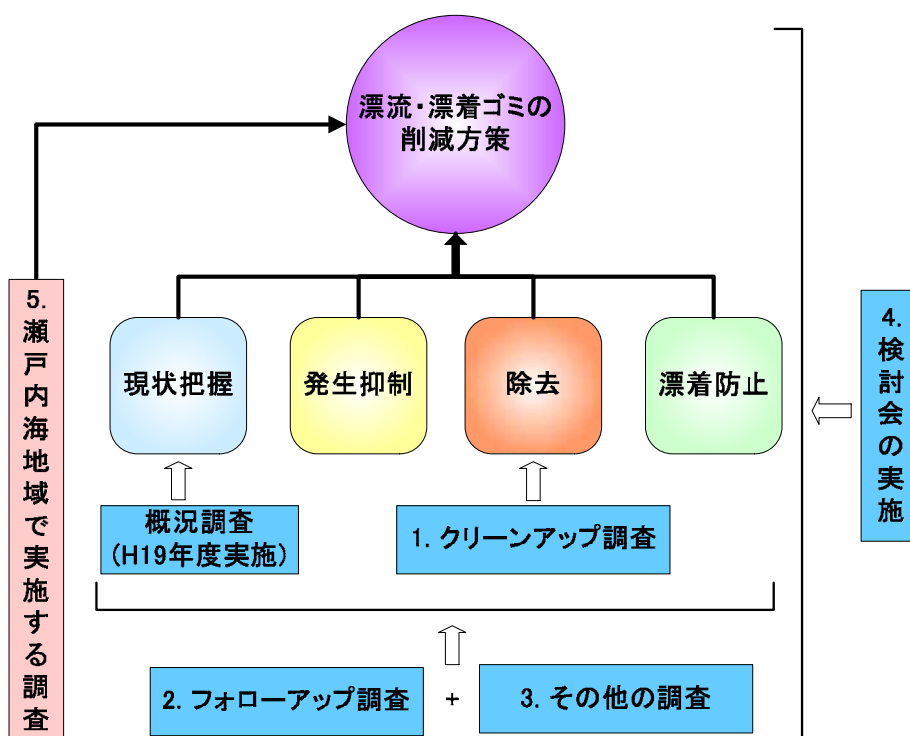


図2 漂流・漂着ゴミ削減方策に資するための各調査項目の役割

3 地域検討会の目的

各モデル地域で実施する調査について、地域の状況や要望を踏まえて適切に実施し、調査結果等を速やかに地域にフィードバックするため、地域の担当者や地域住民等による地域検討会を組織する。議論を通じて地域関係者との連携を深め、効果的な調査の実施と当該地域での「地域における今後の漂流・漂着ゴミ対策のあり方」を取りまとめることを目的とする。

4 調査工程

平成20年度	H20 年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H21 年1月	2月	3月
クリーンアップ調査	—		—			—						
フォローアップ調査			—	—			—					
その他の調査	—											
総括検討会				第4回						第5回		第6回
地域検討会			第4回						第5回			第6回
漂流・漂着ゴミ対策 に関する情報交換会											第2回	